

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	確率統計	
科目基礎情報							
科目番号		0010		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		一般科目		対象学年		3	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		岡本 和夫 他「新版確率統計」(実教出版), 「新版確率統計演習」(実教出版)					
担当教員		奥村 昌司,背戸柳 実,岡田 浩嗣					
到達目標							
1 確率とその定理を用いて色々な確率を求められる。 2 1次元および2次元のデータを整理して, 各種の統計量を求めることができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		色々な確率を求められ, 具体的な推論に応用できる。		色々な確率を求められる。		色々な確率を求められない。	
評価項目2		1次元および2次元のデータを整理して, 各種の統計量を求め, 具体的な推論に応用できる。		1次元および2次元のデータを整理して, 各種の統計量を求めることができる。		各種の統計量を求めることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (A)							
教育方法等							
概要		微分積分IA・IBを前提として, 確率統計を学習し, その基礎となる考え方や方法を身につける。					
授業の進め方・方法		【授業方法】 ・授業は, 講義を中心に進める。 ・適宜, 問題演習を行う。 【学習方法】 ・教科書や問題集の問題を日頃から反復的に解くこと。					
注意点		【成績の評価方法・評価基準】 2回の定期試験を行う。時間は50分とする。2回の試験の点数(60%)と課題の取り組み(40%)基に, 成績を評価する。 到達目標の各項目について, 理解や具体例の計算の到達度を評価基準とする。 【備考】 授業でわからなかったところはそのままにせず, 放課後などを利用して積極的に教員に質問すること。 【教員の連絡先】 教員名 奥村 昌司/岡田 浩嗣/背戸柳 実 研究室 A棟2階(A-206/A-209/A-214) 内線電話 8914/8918 e-mail sokumuraアットマークmaizuru-ct.ac.jp/okadaアットマークmaizuru-ct.ac.jp/setアットマークmaizuru-ct.ac.jp (アットマークは@に変えること。)					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	シラバス内容の説明, 確率(1)		1		
		2週	確率(1)		1		
		3週	確率(2)		1		
		4週	確率(2)		1		
		5週	確率(3)		1		
		6週	確率(3)		1		
		7週	問題演習		1		
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	中間試験返却, データの整理(1)		2		
		10週	データの整理(1)		2		
		11週	データの整理(2)		2		
		12週	データの整理(2)		2		
		13週	データの整理(3)		2		
		14週	データの整理(3)		2		
		15週	問題演習		2		
		16週	(15週目の後に期末試験を実施) 期末試験返却・到達度確認				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	数学	数学	数学	独立試行の確率、余事象の確率、確率の加法定理、排反事象の確率を理解し、簡単な場合について、確率を求めることができる。		3	前1,前2,前3,前4,前7

				条件付き確率、確率の乗法定理、独立事象の確率を理解し、簡単な場合について確率を求めることができる。	3	前4,前5,前6,前7
				1次元のデータを整理して、平均・分散・標準偏差を求めることができる。	3	前9,前10,前11,前12,前15
				2次元のデータを整理して散布図を作成し、相関係数・回帰直線を求めることができる。	3	前12,前13,前14,前15

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	40	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	40	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0